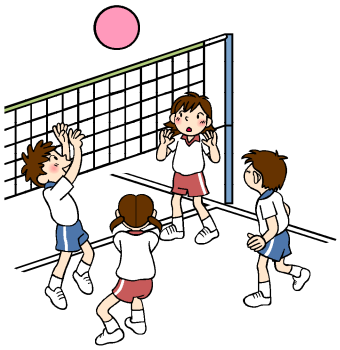
進路だより『COMPASS』

郡山市立小原田中学校
令和２年　６月１２日
第４号　文責：箭内直行

特色選抜の出願要件変更



県教委は令和３年春の県立高校入試の前期選抜で、「特色選抜」の出願要件において、部活動の大会実績や資格試験の成績などを求めない方針を決めたようです。（ただし、中学１、２年次の大会実績は評価対象とする。）新型コロナウイルス感染拡大を受け、部活動の大会中止や資格試験の延期が相次いでいるのが要因のようです。よって出願要件で、例えばスポーツ活動で「顕著な実績を有し」としていた表現を「高い能力を有し」に変更するなどの対応を講じるとのことです。そして、部活動の実技試験を行ったり、実技試験ができない場合は、部活動での取り組みなどを聞く面接を実施するようです。資格試験の成績についても同様ですが、今後試験が行われた場合は評価の対象とするようです。入試実施要綱は１１月に各高校が発表することになっています。

県立高校今夏の体験入学中止の方向

例年、夏休み期間中の７月下旬に、中学生や保護者を対象に体験入学が行われていましたが、夏休み期間短縮などで受け入れ態勢が整わないため７月の実施は中止と判断したようです。ただ、８月以降に感染予防策を徹底した上で行うところがあるかもしれませんが、難しいと思われます。体験入学を実施しない高校は、学校の説明資料などを中学校に配布し、積極的に情報発信するとのことなので、その状況を見ながら、本校では９月以降に高校説明会を実施できればと考えています。

私立高校の入試について（昨年度）

私立高校の受験には、大きく分けて、**「専願」**と**「併願」**、そして**「一般」**と**「推薦」**という方法があります。

「専願」とは、その高校のみを受験し、合格したら入学を確約する受験方法です。

「併願」とは、県立高校など、他校も受験することができる受験方法です。

「専願」、「併願」ともに「推薦」と「一般」があります。高校によって名称は違いますが、主に『推薦専願』と『推薦併願』、『一般専願』と『一般併願』の方法があります。

「一般」受験とは、入学試験（テスト）を受ける方法です。試験の教科は高校によって異なります。日大東北高校、帝京安積高校、郡山女子大学附属高校は国語、数学、英語の３教科です。尚志高校は５教科のうち得点の高い３教科の点数で合格者を決めます。

「推薦」とは、中学校の校長先生の推薦を受けて受験する方法です。「推薦」には、学業による「推薦」と部活動による「推薦」があります。校長先生の推薦をもらうには、各高校の**推薦基準をクリア**することが必要です。裏に各高校の推薦基準を載せておきましたので、参考にしてみてください。今年度も大きく変わらないと思いますが、部活動による「推薦」のところがどのようになるのか、確認していきたいと思います。